

熊本支援のチャリティー「くまモン」刺繍ソックスを発売 10月1日(土)、全国の直営・FC135店舗とオンラインストアで

Made in Japanならではの繊細な履き心地と、デザイン性を兼ね備えた靴下を企画・販売し、レッグファッションから新しいライフスタイルを提案するタビオ株式会社（本社：大阪市浪速区、代表取締役社長：越智勝寛、以下タビオ）は、10月1日（土）から12月31日（土）まで、「靴下屋」「Tabio」「ショセット」など、全国の直営・FC135店舗とオンラインストアで、ゆるキャラ「くまモン」の刺繍ソックスを販売。対象商品の売上高の10%を、熊本地震の被災地の復興支援に寄付します。

■CRMを活用した、被災地復興支援 ／神戸大学との産学連携プロジェクト



今回の取り組みは、CRM（コーズ・リレイテッド・マーケティング＝寄付付商品の販売）を活用した、被災地復興支援の実証実験として実施する、神戸大学との産学連携プロジェクト。

具体的には、タビオが熊本県のPRマスコットキャラクター「くまモン」の刺繍ソックスを、寄付商品として企画し、それを全国の直営・FC店やオンラインストアなどで販売。対象商品の売上高の10%を、熊本県阿蘇郡西原村の復興支援として寄付するというものです。

■対象商品は4タイプ／全国135店舗とオンラインストアで販売

対象商品として用意するのはいずれも婦人物で、写真左から順に、ベタクルー（600円＋税、22～24センチ、4色展開）、ドットロークルー（900円＋税、22.5～24.5センチ、4色展開）、Tシャツボーダーロークルー（700円＋税、22～24センチ、4色展開）、指先レインボー五本指（900円＋税、23～25センチ、4色展開）の計4タイプ。

これらの商品は、全国の「靴下屋」「Tabio」「ショセット」計135店舗とタビオオンラインストアで、10月1日（土）から12月31日（土）までの3カ月間にわたり販売します。

期間中はポスターやPOPなど各種の販促資材も用意して、プロジェクトへの理解と盛り上げを図ります。

■ タビオ株式会社(東証第二部証券コード:2668)

タビオ株式会社は1968年に創業し、48年の歳月の中で「靴下を履いていることを忘れてしまうような「第2の皮膚」」をめざし、追求してまいりました。繊細な履き心地の靴下をつくるために、長年の経験と技術を積んだ日本の職人たちが一つひとつ丁寧に編み立っています。現在では「靴下屋」「Tabio」「Tabio MEN」などの靴下専門店ブランドを日本全国に289店舗（2016年8月末現在）展開し、「Tabio」名の店舗をバリ、ロンドンなどに展開。Made in Japanの履き心地とデザイン性は、ファッションの本場パリでも高い評価を得ています。

事業内容：靴下の企画・卸・小売。直営店（靴下屋・Tabio・Tabio MEN・ショセット）、FC店（靴下屋）の展開。
（ホームページ <http://www.tabio.com/jp/>）

＜本件に関するお問い合わせ先＞

（大阪）広報課 平野 満義 TEL 06-6632-1200(代)/ FAX 06-6632-1401 hirano@tabio.com

（東京）プレス課 小林 理沙 TEL 03-6419-7676(代)/ FAX 03-6419-7661 kobayashi@tabio.com